

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画実施状況報告書</p> <p style="text-align: right;">29年6月30日</p>	
<p>都道府県知事 広瀬 勝貞 殿</p>	
<p>提出者</p> <p>住 所 日田市大字三和3356 氏 名 (有)諫山牧場 代表取締役 諫山文彦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号0973-23-8698</p>	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	(有)諫山牧場
事業場の所在地	日田市大字三和3356
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01農業
② 事業の規模	乳用種 (乳牛65頭 育成牛28頭)
③ 従業員数	4人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿：自ら堆肥処理 動物の処理：化製場へ全量委託処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
場長：廃棄物処理に関する事務全般			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1,632 t	2.5 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1,650 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,072 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化处理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,080 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化处理		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	560 t	t
(これまでに実施した取組) 堆肥化处理			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	570 t	t
(今後実施する予定の取組) 堆肥化处理			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	2.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 化製場への委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
化製場への委託処理			
※事務処理欄			